

# 中小企業あきた

- 1 コロナに負けず、がんばっています！ ..... 1
- 2 商工中金・組合実態調査報告書〈2020年版〉から ..... 2

○景況レポート 7月分 ..... 4

- 話題の広場
- 中央会事業より ..... 6
- 支援団体活動レポート ..... 8
- 新理事長紹介 ..... 9
- アラカルト ..... 9
- インフォメーション ..... 9



## TOPICS 1 コロナに負けず、がんばっています！

トピックス SPECIAL FEATURES

今年、新型コロナウイルス感染症で様々なイベント等が中止となり、異例の夏となりました。そこで、今回は、このような逆境に負けずに頑張っている本会会員組合等の取組をご紹介します。

### 需要回復を目指し、30銘柄を統一ラベルで販売

(秋田県酒造協同組合)

秋田県酒造協同組合(齋藤雅人理事長、組合員35名)では、組合員のうち30社が日本酒を1銘柄ずつ提供し、30銘柄を統一ラベルで販売する「秋田旬吟醸2020」の予約販売を行いました。

これは、新型コロナウイルス感染症の影響で消費が低迷する日本酒業界を盛り上げようと企画されたもので、各社から県産米を50%以上使用した純米吟醸や純米大吟醸が用意されました。

ラベルは新政酒造(秋田市)が監修し、「美酒王国秋田」のロゴを使用したデザインに統一、色は各酒造会社の個性をイメージして決められました。

各銘柄とも限定540本とし、8月3日(月)に予約販売の開始を発表したところ、新聞・テレビ等の

メディアに取り上げられ、注文が殺到し、ほどなく完売しました。

今回の取組は、「乾杯だよ！秋田の地酒で全員集合！」プロジェクトの企画の一つとして実施しており、今後、組合では次の企画を検討・実施し、業界をさらに盛り上げていくこととしています。



[統一ラベルで販売された秋田旬吟醸2020]

### 商店街を会場に文化祭を開催

(湯沢市中心部4商店街)

8月10日(月)から同23日(日)まで、湯沢市中心部にある大町、柳町、中央通り、駅通りの4商店街やJR湯沢駅を会場に、「まちなか文化祭inゆざわ」が開催されました。

この文化祭は、新型コロナウイルスの影響で、地域のイベントが中止された商店街に賑わいを取り戻すとともに、学校行事の規模縮小に伴い、成果を披露する場を失った市内の高校文化部員に、作品展示の場を提供するために、各商店街で組織する「まちなかにぎわい委員会」が主催したものです。

湯沢高校の生徒から同委員会に、商店街で作品を展示できないかと相談されたことがきっかけとなり、湯沢翔北高校を加えた2つの高校と4商店街が協力・連携し開催することとなりました。

会場では、商店のショーウィンドーや市交流

スペースなどに、絵や写真、書などの作品が展示されました。

今年、8月の伝統行事「七夕絵どうろうまつり」が中止となりましたが、高校生の作品の力が商店街を彩りました。



[空き店舗に展示された絵画作品]

## コロナ対策を実施して草市を開催

## (秋田市通町商店街振興組合)

8月12日(水)、秋田市通町商店街振興組合(佐藤政則理事長、組合員60名)において、お盆の恒例となっている草市が開催されました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、同商店街の来街者と各店の売上の減少が続いており、この状況を早期に回復させ、商店街に少しでも活気を取り戻す必要があります。

そこで、県の商店街消費喚起支援事業補助金を活用して、イベント参加者へのマスクの配布や消毒液の設置など、感染防止対策を徹底した上で行われました。

当日は、商店街の店舗をマスク目に見立てて、与えられたお題をクリアしながらお店を巡る「商店街すごろく」が行われた他、当商店街だけで使える商品券の抽選会を実施し、通町へ再度来てもらうきっかけをつくりました。

また、秋田舞妓と通町若旦那衆による打ち水や

ファイアーダンス、弾き語りライブなどが行われました。

毎年行っていた流しそうめんや野菜の直売などは感染防止のため実施しませんでした。家族連れや浴衣を着た子どもたちがイベントを楽しみました。

組合では、商店街にまた来てもらえるような企画を今後も実施していくこととしています。



[イベントの様子]

## 駅前を活気づける納涼ビアガーデンを開催

## (横手駅前商店街振興組合)

7月17日(金)から8月8日(土)までの毎週金曜日と土曜日の計8日間にわたり、横手市のJR横手駅前にある「よこてイースト」において、納涼ビアガーデンが開催されました。

このイベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により激減した客足と売上を回復させ、駅前に賑わいを取り戻そうと、横手駅前商店街振興組合(齋藤善一理事長、組合員41名)が企画したものです。

イベントの開催にあたっては、県の商店街消費喚起支援事業補助金を活用して、来場者への検温及びアルコール消毒、フェイスシールドやビニールフィルムを設置した上、来場者数を制限して行いました。

当日、会場内には、特設ステージが設けられ、県内のアーティストが8日間で合計約40組出演しました。このステージの設営・運営は、仕事が

激減した地元のイベント企画運営会社に委託して実施されました。

また、組合員店舗が出店し、飲食を提供した他、商店街店舗からテイクアウトした飲食物の持ち込みも可能とし、組合員の売上増加を図りました。

今回、感染防止対策を取り、他の商店街に先駆けてイベントを開催したことで、外出機会が少なかった地域住民やイベント関係者からは喜びの声が多く寄せられ、有意義なイベントとなりました。



[イベントの様子]

# TOPICS 2 商工中金・組合実態調査報告書 <2020年版>から

商工中金では、中小企業組合を取り巻く環境の変化が組合活動に及ぼす影響や、組合の現状等について、その実態を把握し、金融及び経営支援サービス等の向上に資することを目的に、一般財団法人商工総合研究所と共同で組合実態調査を実施し、その結果を6月に公表しました。今回はその中から一部を抜粋してご紹介します。

## 1. 組合事業(今後新規に取り組みたい事業)について

今後新規に取り組みたい事業についてみると、「教育訓練・人材開発」16.4%、「外国人技能実習生受入」(16.2%)、「異業種交流、企業連携、産学官連携」(15.0%)、「共同求人」(12.1%)、「市場調査・販路開拓」(10.8%)等が上位に挙げられている。

第1位は人的資源の質の向上、第2位と第4位は、人的資源の量の確保を目的とするものであり、中小企業の人的資源への関心の高まりが窺える。【図表1】

【図表1】 今後新規に取り組みたい事業

